

TOTO

洗面所用シングルレバー混合栓


TL389型




製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意	
	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	凍結が予想される場所は水を抜いておいてください。 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 (寒冷地用)
	ワンタッチソケットに組みつけられる逆止弁部は取り外さないでください。 逆流やバルブ破損のおそれがあります。

2-1 使用条件

1. 使用水圧の確認

- (1)瞬間型給湯機と組み合わせる場合
給水圧力 { 最低必要水圧・・・(下表参照)
 最高水圧・・・0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧(MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧	
比例制御タイプ	TOTO ハイカスタム	16号 20号	0.06
	TOTO ハイトリコン	16号 20号 21号 24号	
	TOTO ハイコマンド	16号 20号 24号	0.06
	TOTO ハイアクティ	約21号 約27号	

<設定条件>

項目	比例制御タイプ
吐水ハンドル	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	・給湯機が着火する下限の圧力 ・水温が高い(25℃)夏期を想定。
出湯温度	60℃

※能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替えると着火しやすくなります。

2-2

(2)貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧・・・0.05MPa
最高水圧・・・0.75MPa

(3)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2.給湯温度について

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 給湯温度は最高85℃以下でお使いください。
- 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。
85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

3.配管について

- 湯水を逆配管しないでください。
給水ホースには◎ラベルを、給湯ホースには⊕ラベルを貼付けています。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4.止水栓について

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

3

部品の確認

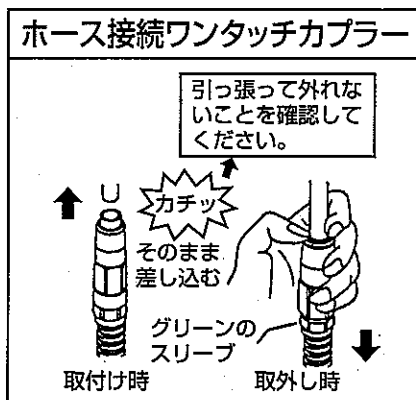
	名 称	数 量
1	取扱説明書・保証書	1冊
2	ストッパー	1個
3	ワンタッチソケット	2個
4	水抜コック(寒冷地のみ)	1個

4 取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、ホース接続ワンタッチカブラー及びワンタッチソケットを採用しています。

1. ホース接続ワンタッチカブラー

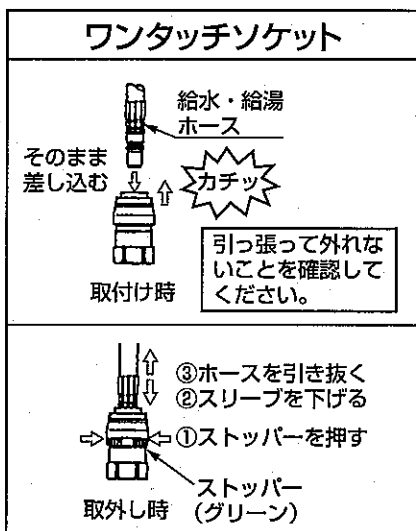
混合栓本体のホース接続管の脱着がワンタッチで可能です。接続の際はグリーンのスリーブ側を接続管に挿入しカチッと音がするまで押し込んでください。外す時は、グリーンのスリーブをひき下げてホース自体を下方に引っ張ってください。



2. ワンタッチソケット

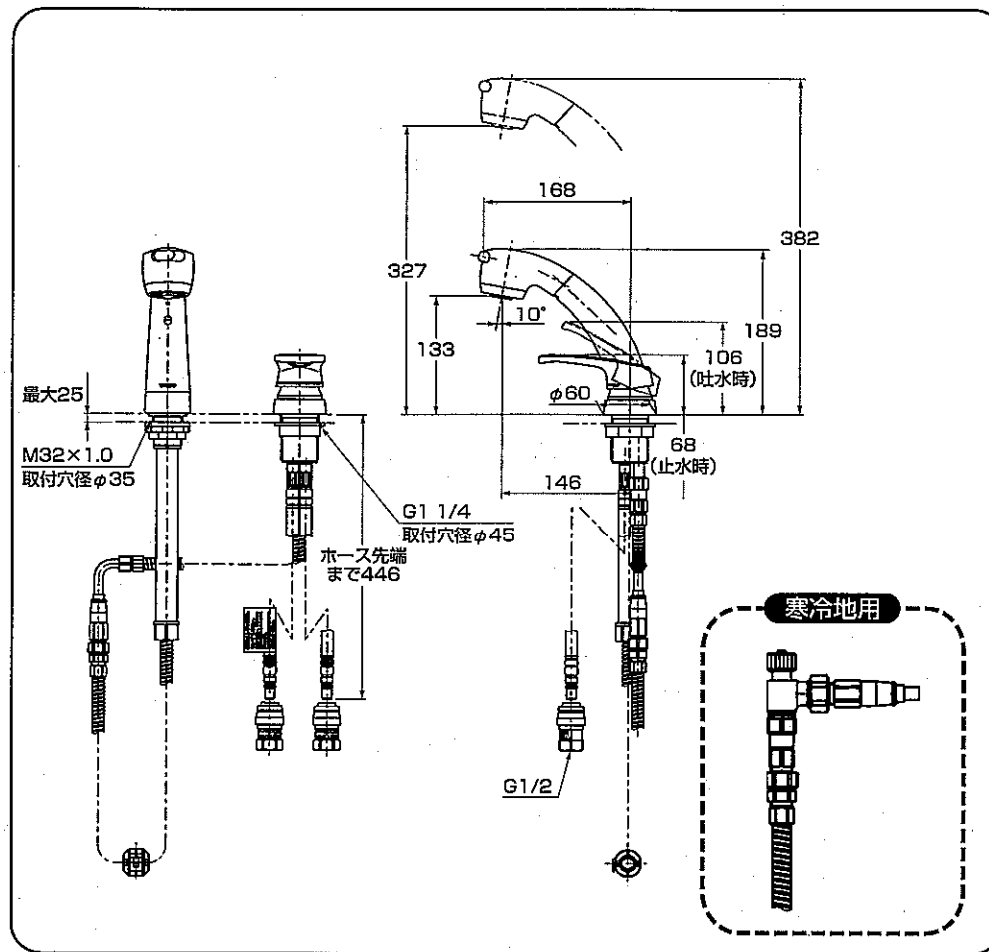
(一般用: 逆止弁付、寒冷地用: 逆止弁なし)

給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。接続の際は、ホースをソケットに挿入し、カチッと音がするまで押し込んでください。確実に接続されるとグリーンがストッパーが見えます。外す時はストッパーを左右から押し込みスリーブを下げてホースを引き抜いてください。



※ワンタッチソケットは、逆止弁部と一体で同梱されています。

5 完成図

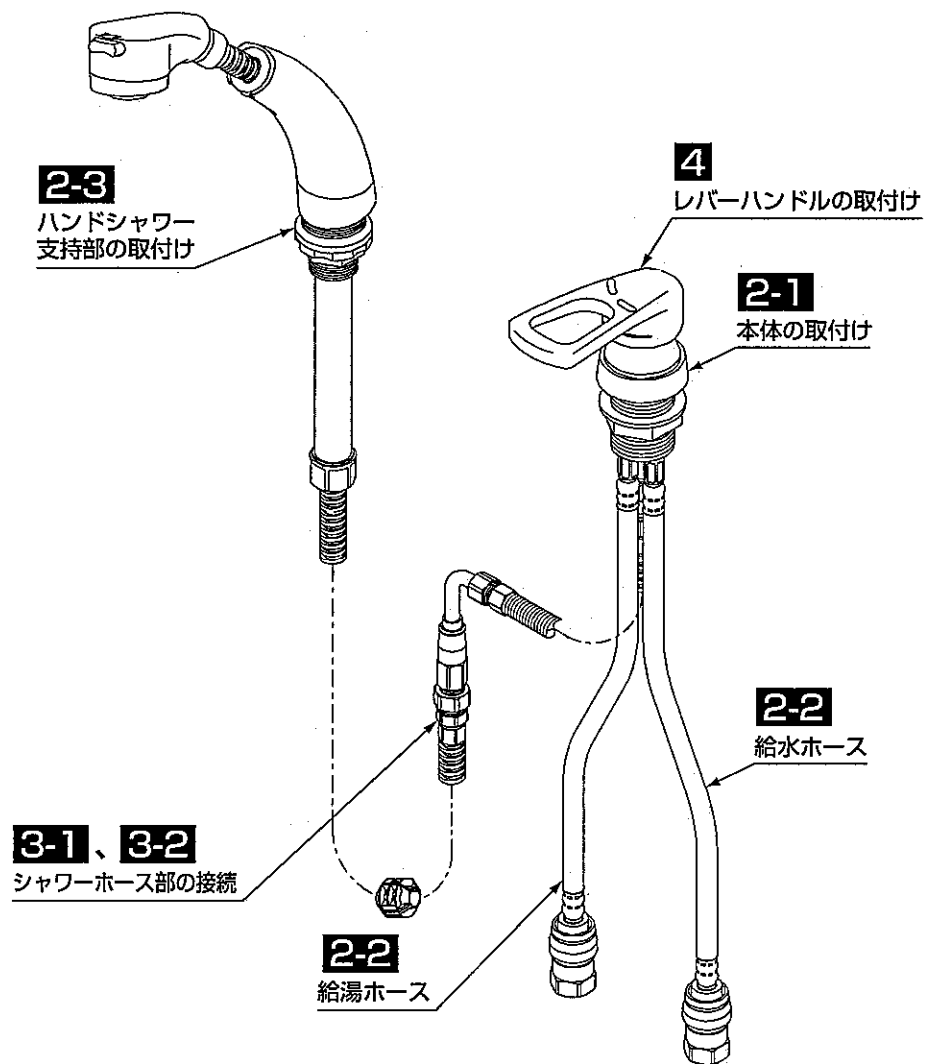


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

6-1 施工手順



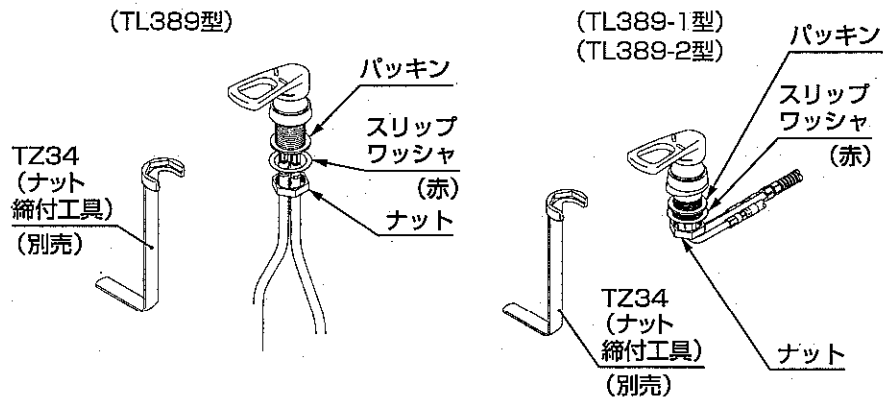
6-2

1 給水管内を清掃

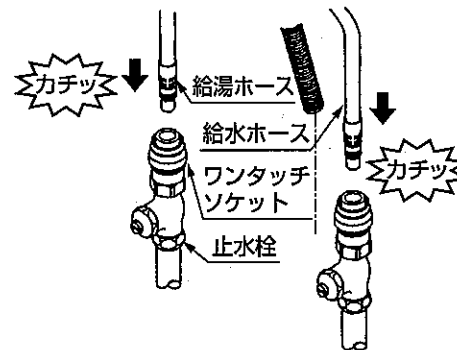
器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2-1 本体の取付け、給水・給湯ホースの接続

- ①ラベル「後側」が壁側になるようにしてナットを仮締めする。
②ナット締め専用工具 (TZ34) を利用して確実に固定する。



- ②給水・給湯ホースをワンタッチソケットにカチッと音が出るまで挿入する。

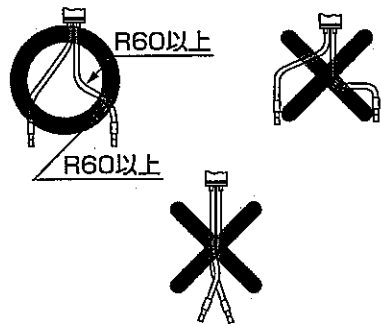


- ①ワンタッチソケットを止水栓にねじ込む。

6-3

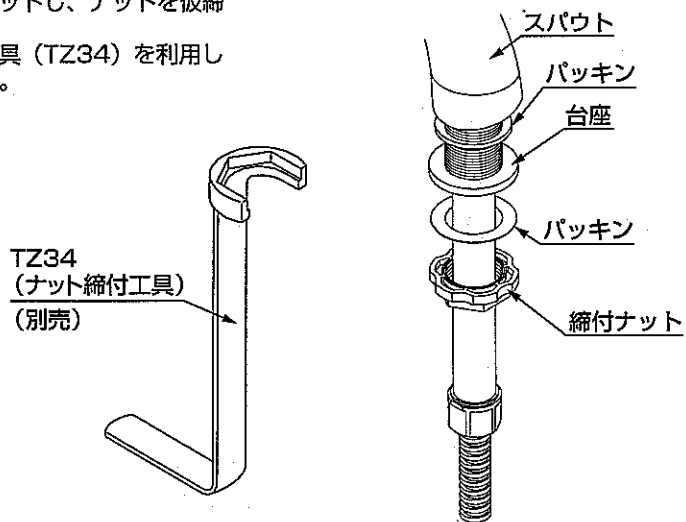
2-2 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- ①ホースの折れにご注意ください。ホースを小さく曲げますとホースが折れることがあります。万一折れた場合は指でつまんで元どりにしてください。
- ②本体端面より極端に屈曲して施工しないでください。
- ③ホース同士の不要な接触は避けてください。



2-3 ハンドシャワー支持部の取付け

- ①台座、支持管をセットし、ナットを仮締めする。
- ②ナット締付専用工具 (TZ34) を利用して確実に固定する。



6-4

3-1 シャワーホース部の接続 (一般地)

図の位置にストッパーをパチンとはめこんでください。

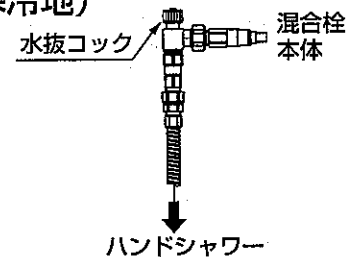
1

2

ホース接続ワンタッチカプラーを本体下部に接続してください。

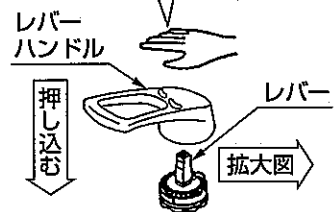
3-2 シャワーホース部の接続 (寒冷地)

寒冷地の場合は、シャワーホースの水抜コックの取付け方向に注意してください。また、水抜コックにシャワーホースを締付けた後、ワンタッチカプラーをホース接続管に挿入してください。シャワーホースが、水受トレイに納まらなくなります。



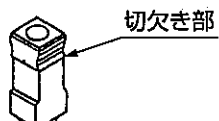
4 レバーハンドルの取付け

カチッと音がするまで押し込む



ご注意

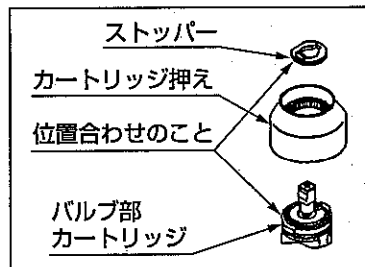
このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。
万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組み込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向に少し回して、歯を合わせるように調整してください。



7

取付け後の確認と調整

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

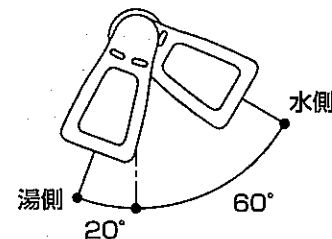
1. 水漏れの確認

止水栓を開き、給水・給湯ホースや、ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

2. 水を出す・止める、温度調整の確認

3. TL389-1型、TL389-2型の場合

高温になりすぎないように、湯側（左）は約20°しか回転せずハンドルを湯側全開にしても水が混合される仕様になっています。現場にて適切な温度になるよう、止水栓を調整してご使用ください。



注意



分解禁止

バルブ部カートリッジ内部は、精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

8-1 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

⚠ 注意



必ず実行

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

水抜コックは、水抜き以外の目的では開けないでください。

水抜コックをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、温水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

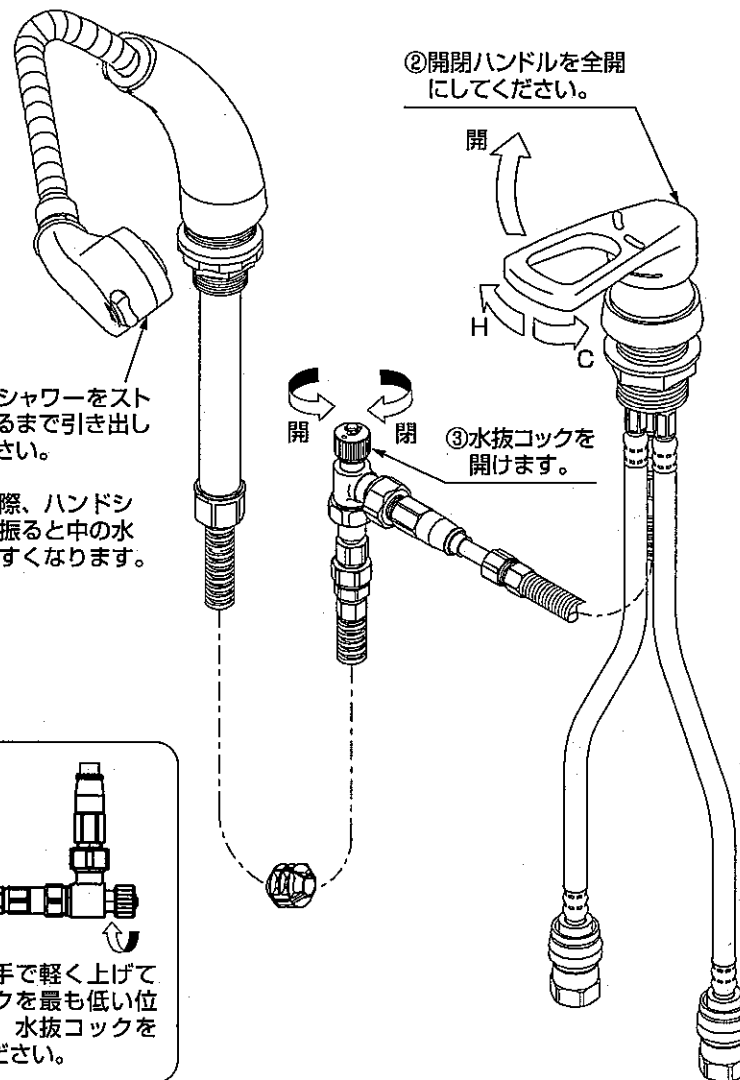
解氷機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

8-2

下記の手順にしたがって、水抜きをしてください。

水抜き方法



①ハンドシャワーをストップするまで引き出してください。

水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

②開閉ハンドルを全開にしてください。

開

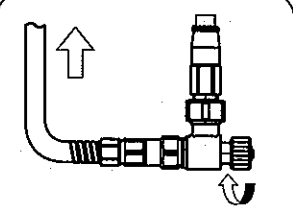
H

C

開

閉

③水抜コックを開けます。



ホースを手で軽く上げて水抜コックを最も低い位置にして、水抜コックを開いてください。